

「性の多様性の尊重」に係る教職員用リーフレット
「ひとりひとりが 自分らしく生きる」の活用に当たって

埼玉県教育委員会

1 リーフレットの作成経緯と目的

- (1) 全ての教職員が性の多様性の尊重について十分理解し、全てのセクシュアリティの児童生徒が安心して通うことができる学校づくりを推進するための理解啓発資料として、本リーフレットを作成しました。
- (2) 本リーフレットは、平成27年4月30日付け及び平成28年4月1日付けの文部科学省の文書※を踏まえた内容とし、性の多様性の尊重に係る基本的な情報や留意点を中心に掲載しました。
- (3) 研修資料や相談対応時の確認事項として用いるなど、全ての教職員が本リーフレットの活用を通じて、性の多様性の尊重について共通理解を図ることを目的としています。

【参考資料】

- ※ 平成27年4月30日付け文部科学省「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」(通知)
- ※ 平成28年4月1日付け文部科学省「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について(教職員向け)」

2 リーフレットの概要

- (1) 知っていますか ～「性の多様性」に関連する調査データから～
なぜ、全ての教職員が性の多様性の尊重について理解する必要があるのか、その意義につながる背景を示しています。各調査結果のデータを通じて、性の多様性に係る実態を知ることにより共通理解を図ります。
- (2) 性のあり方(セクシュアリティ)とは ～四つの要素・SOGIE～
自分自身を含めた性のあり方(「SOGIE」)やその多様性について学ぶこと、他人事ではなく自分事として捉え、全ての教職員が性の多様性を理解する重要性についてまとめています。
- (3) 児童生徒へ きめ細かな対応を ～対応における留意点～
学校における全ての教育活動を通じて、あるいは相談対応など特定の場面で、教職員が留意すべき事項を挙げています。非常に重要な事項であり、必ず知っておく必要があります。
- (4) 具体的な取組例 ～全ての児童生徒が安心して過ごせる学校～
性の多様性の尊重に関連して、日々の学校全体における具体的な取組について例示しています。研修等において具体的な取組を話し合う際の参考資料としても活用できます。
- (5) 性の多様性 関連用語集
性の多様性に関連する主な用語について解説しています。
- (6) 学校以外のコミュニティ
県内には、児童生徒本人や保護者、支援者等を対象とした様々なコミュニティがあることを示しています。